

国立病院臨床検査技師協会
関信支部 支部長
岩崎 康治 殿

令和元年度 監査報告書

私たちは、国立病院臨床検査技師協会関東信越支部規約第 10 条の規約に基づき、令和元年度(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)国立病院臨床検査技師協会関信支部の会務活動並びに会計の監査を行ったので、次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- 1) 会務監査について、地区代表者会議に出席し、理事からの会務報告及び地区代表者からの意見を聴取しました。また、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討し監査を実施しました。
- 2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討し監査を実施しました。

2. 監査結果

【令和元年度会務】

1) 事務局について

(1) 組織の充実・関係協議会等との連携

地区会の定期総会・研修会に参加、関信支部地区代表者会議開催、国臨協本部理事会および全国支部長会議に出席、国臨協 OB 会関信支部定期総会・意見交換会に参加、関東信越グループ臨床検査専門職とは協働で一般技師を対象にした医療職(二)・福祉職キャリアアップ研修を開催するなど連携強化に取り組んでいました。

(2) 事務管理の向上

年 3 回の会員調査を行い、支部ニュース臨時号(人事異動)等をホームページへ掲載し情報提供されていきました。また、会員調査については、国臨協本部へ情報提供されていきました。

(3) 文化活動

平成 30 年度国臨協関信支部合同交流会(参加人数: 272 名)、令和元年度関信支部主催ビアパーティー(参加人数: 158 名)を開催し会員相互の親睦と施設交流に努めていきました。

2) 学術について

(1) 国臨協関信支部学会の開催

第 47 回関信支部学会が、「変革～新しい時代に向かって～」をテーマとして開催されました。

(2) 学術委員会との協働

各地区会の研修会への講師派遣、また、学会企画として学術委員による分科会を行うなど学術委員会との協働がされていきました。学術委員会との協力体制については、学術委員会の活動があまり拡大し過ぎる事の無いよう検討して頂きたい。

(3) 各種研修会の開催

第 1 回研修会では「女性の健康を考える」、第 2 回研修会では「東京 2020 に向けたグローバル時代の感染症対策」、第 3 回研修会では、「遺伝子検査の基礎と遺伝子検査の現状」および「遺伝子検査各論(病理検査)」の内容で 3 回の研修会が開催され多くの会員が参加しました。しかし、COVID-19

感染拡大の影響で症例検討会については延期となりました。

(4) 日臨技事業との連携

日臨技の生涯教育研修登録の一括申請がされておりますが、申請遅延等がありましたので手順やチェック体制の確認について申入れをしました。

3) 広報について

(1) 関信支部ニュース

ホームページと支部ニュースの構成のすみ分けがされ、タイムリーな情報提供が行えるよう各病院の話題・活動の掲載や学術委員会と連携をとり、学術情報の掲載がされていきました。

(2) 研修会および学会分科会等の記録・保管・管理

支部主催研修会の一部(講師了承)は、録画しホームページ上に整備され、会員が借りやすい体制を構築して貸し出しの継続に努めていました。

(3) 関信支部ホームページの有効活用

ホームページの更新情報を施設連絡者宛にメール配信する等の取り組みを行い、ホームページの認知度の向上に努めていました。また、自然災害等による研修会開催中止の情報を迅速にホームページへアップするという取り組みもされていきました。

4) その他

(1) 地区会助成金廃止について

① 各地区会への学術的支援目的の助成金(年 3 万円)を廃止し、学術委員の講師派遣(講師料+行動費)や各地区会で開催する研修会の為の講師招聘等の費用が補助されていきました。

(2) 国臨協関信支部学会にかかるシステムのレンタルについて

① システムレンタルすることで、トラブルなく円滑な運営がされていきました。

② 学会運営費としては、昨年と比べ約 30 万円増となりましたが、学会参加費を 500 円値上げすることで一部対応し、経費削減にも取り組み、予算内に収めていました。

以上、令和元年度の会務内容は適正であり、理事の会務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実はないことを認めます。

【令和元年度会計】

令和元年度会計に関する収入支出台帳をはじめ証拠書類・貯金通帳等については適正に執行され、令和元年度会計報告は、関信支部の収支状況を正しく示しているものと認めます。

令和 2 年 4 月 6 日

監事：益田 泰蔵 

監事：-、岡 燈 

令和元年度会計 決算報告

(自:平成31年4月1日～至:令和2年3月31日)

《収入の部》

(単位:円)

科 目	平成30年度決算額	令和元年度決算額	増 減	備 考
会員会費	5,168,000	5,264,000	96,000	関信支部4,000円×660名 本部4,000円×656名
広告収入	620,000	320,000	▲ 300,000	広告掲載社数(20,000円×16社)
学会協賛収入		340,000	340,000	協賛社数(20,000円×17社)
支部学会、研修会参加費収入	851,000	929,000	78,000	会場整理費(支部学会、研修会)等
雑収入	35	39	4	受け取り利子など
前年度繰越金	2,382,578	2,760,613	378,035	
合計	9,021,613	9,613,652	592,039	

《支出の部》

(単位:円)

科 目 / 項 目	平成30年度決算額	令和元年度決算額	増 減	備 考
本部会費	2,584,000	2,624,000	40,000	4,000円×656名
事務費	258,463	145,192	▲ 113,271	
通信費	132,784	124,720	▲ 8,064	インターネット利用料(HP)・郵送費・切手・葉書等
消耗品費	121,791	16,332	▲ 105,459	封筒・事務用品等
手数料	3,888	4,140	252	振り込み手数料
会議費	909,666	1,145,486	235,820	
常任理事会・部会	621,464	645,664	24,200	学術委員会部門長会議、監査
地区代表者会議	57,036	74,672	17,636	
諸会議費	231,166	425,150	193,984	関信支部定期総会、本部理事会、第73回国立病院総合医学会視察
広報費	932,182	905,355	▲ 26,827	
ニュース印刷費	754,817	717,895	▲ 36,922	支部ニュース
郵送費	177,365	187,460	10,095	
研修会費	70,575	154,559	83,984	
講師料・会場費	55,000	112,500	57,500	支部主催研修会3回、学術委員講師派遣
行動費	15,575	42,059	26,484	
地区会等関係費	429,308	141,458	▲ 287,850	
行動費	129,308	87,458	▲ 41,850	定期総会出席
地区会活動助成金	300,000	54,000	▲ 246,000	補助金
学会運営費	1,071,385	1,356,427	285,042	
事務費	736,082	1,149,723	413,641	学会抄録集書作成、学会会場費、システム委託、備品等
謝礼等	137,800	91,600	▲ 46,200	講師料、来賓謝礼等
行動費	197,503	115,104	▲ 82,399	
予備費	5,421	21,846	16,425	生花、弔電代
合計	6,261,000	6,494,323	233,323	

増減＝令和元年度決算額－平成30年度決算額

収入額		支出額		次年度繰越金
9,613,652	－	6,494,323	＝	3,119,329